

天皇賜杯第 77 回日本学生陸上競技対校選手権大会 要 項

1. 主 催 社団法人日本学生陸上競技連合
2. 運営協力 関東学生陸上競技連盟、社団法人東京陸上競技協会
3. 協 賛 ミズノ株式会社
4. 協 力 シチズンホールディングス株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、大塚製薬株式会社
5. 期 日 平成 20 年 9 月 12 日（金）・13 日（土）・14 日（日）
6. 場 所 国立競技場 （ハンマー投予選） 代々木公園陸上競技場
7. 競技種目 男子 22 種目
100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 10000m 110mH 400mH
3000mSC 4×100mR 4×400mR 10000mW 走高跳 棒高跳 走幅跳
三段跳 砲丸投 円盤投 ハンマー投 やり投 十種競技
女子 21 種目
100m 200m 400m 800m 1500m 5000m 10000m 100mH 400mH
4×100mR 4×400mR 10000mW 走高跳 棒高跳 走幅跳 三段跳
砲丸投 円盤投 ハンマー投 やり投 七種競技
8. 出場資格 1)平成 20 年度（社）日本学生陸上競技連合登録競技者に限る。
2)①平成 19 年 1 月 1 日から申し込み期日前日までに、別紙標準記録に達した者は、下図の例に従い各種目 1 大学につき 3 名まで出場できる。

出場人数と標準突破者の組み合わせ

出場人数	競歩以外の種目		競歩
1 名	B	A	B
2 名	B A	A A	B B
3 名	B A A	A A A	B B B

②B 標準突破者（特別枠）について

平成 20 年度地区 IC および平成 19・20 年度北日本 IC・西日本 IC の優勝者は B 標準突破者とみなす。但し、各種目同一大学に地区 IC 優勝者、北日本・西日本 IC 優勝者、標準記録 B に達した者がいた場合は、いずれか 1 名とする。

③リレーについては平成 20 年度登録競技者の編成によるチームの記録でなければならない。

3)4×100mR・4×400mR は 1 大学 1 チームとし、6 名連記とする。

4)個人の出場種目数の制限はない。

9. 参 加 料 出場者 1 種目 1 名につき 2500 円、リレーは 1 チーム 4000 円とする。
10. 申込期日 平成 20 年 月 日（ ）（地区学連締切日）
11. 申込方法 1)大学は、地区学連の指定期日までに下記の書類を整備の上、地区学連まで申し込むこと。
また、FAX・電話等による申し込みは一切受け付けない。
2)参加料は、申し込みと同時に納入すること。受領書は地区学連のものとする。
3)地区学連は、大学の書類を取りまとめの上、平成 20 年 月 日（ ）までに日本学

連に申し込むこと（必着）。

申込書類 エントリー入力シート（混成競技とリレーを除いた種目）
混成競技エントリー入力シート
リレーエントリー入力シート
種目別参加人数表

左記データを保存したF D等と、
印刷した紙を提出のこと。

4) 送り先

〒151-0053 東京都渋谷区代々木 1-58-11 中沢ビル 2 階
社団法人 日本学生陸上競技連合 宛
TEL 03-5304-5542
FAX 03-5304-5569

12. 得点方法 各種目とも、1 位－8 点、2 位－7 点、3 位－6 点、4 位－5 点、5 位－4 点、6 位－3 点、7 位－2 点、8 位－1 点とする。

13. 式典 開会式 9 月 12 日（金）9 時 30 分
閉会式 9 月 14 日（日）競技終了後

14. 表彰 男子総合優勝大学には天皇賜杯、女子総合優勝大学には秩父宮妃杯を贈与する。その他男・女各優勝大学に次の賞を贈与する。

＜男子の部＞総合優勝大学 日本陸上競技連盟優勝旗
トラック優勝大学 朝日新聞社 楯
フィールド優勝大学 毎日新聞社 楯
混成優勝大学 日本学生陸上競技連合杯
多種目優勝大学 読売新聞社 楯
＜女子の部＞総合優勝大学 日本学生陸上競技連合会長杯
トラック優勝大学 日本学生陸上競技連合杯
フィールド優勝大学 日本学生陸上競技連合杯
混成優勝大学 日本学生陸上競技連合杯
多種目優勝大学 日本学生陸上競技連合楯

15. 監督・代表者会議 平成 20 年 9 月 日（ ） 時より国立競技場大会議室にて行う。
プログラム、ナンバーカード他関係書類を交付し、注意事項の伝達、プログラム訂正を行う。
指導責任者は必ず出席のこと。なお、この会議において不出場を申し出た場合はこれを承認する。

16. 注意事項 1) 競技は平成 20 年度日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。
2) やむなく競技に参加できない場合は不出場届を提出すること。
3) 各大学の部長（1 名）、監督（1 名）、コーチ（若干名）、マネージャー（若干名）、トレーナー（本連合が認めた者）および選手は本連合が定める ID（監督・代表者会議において配布）を着用のこと。
4) 競技に使用する用器具は、主催者側が用意したものを使わなければならない。ただし棒高跳用ポール、やりは個人所有のものが使用できる（配布された投てき物一覧表以外のものに限る）。やりは招集完了時刻 1 時間前に器具庫で各々検査を受けて、許可されたものでなければ使用できない。
5) 計時はトラック競技全種目電気計時で行う。
6) 5000m、10000m、競歩の給水については天候に応じて主催者が水とスポンジを用意する場合がある。

- 7)練習は東京体育館の陸上競技場を使用できる。
- 8)ドーピングコントロールテストは JAAF の規則に従い実施する。ドーピングコントロールテストを指示された競技者は、競技役員の指示に従ってテストを受けること。
- 9)競技中に発生した傷害、疾病についての応急処置は主催者側で行うがそれ以後の責任は負わない。
- 10)各大学は開・閉会式の際、部旗を 1 旗用意すること。なお、優勝大学（男子・女子）は校歌を演奏し部旗を掲揚するので準備しておくこと。

17. そ の 他
- 1)参加者は健康保険証（コピー可）を持参のこと。
 - 2)宿泊についてトップツアー（株）が斡旋するので、希望者は別紙宿泊要項を参照のこと（所属学連に問い合わせのこと）。
 - 3)ポールの搬送について
ポールは下記の住所に郵送すること。
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町 10-2 国立競技場 事業課着付
（社）日本学生陸上競技連合 宛 TEL:03-5304-5542